三精塗料工業株式会社
〒639-1037　奈良県大和郡山市額田部北町 1261-5
TEL 0743-56-8611　*E.mail : kikyou@kcn.ne.jp*
FAX 0743-56-8621　*URL:http://www1.kcn.ne.jp/~kikyou/*
九州出張所 ：　佐賀県三養基郡みやき町江口 1953

【\S30J80】

絶縁塗料　ＥＰ－２１

Ⅰ. はじめに

電気絶縁塗料　ＥＰ－２１は、変成エポキシ樹脂を成分とした常温乾燥型の絶縁塗料で、ＪＩＳ　Ｃ２３５０(1983)の規格をクリヤーする常温硬化可能なワニスです。

Ⅱ. 使用方法

１．混合比
　主剤：硬化剤＝２：１（重量比）

２．シンナー希釈について
主剤と硬化剤だけでも塗布可能ですが、塗装機に適した粘度に下げるためや、ポットライフを長くしたい場合には、専用シンナーで希釈して適した粘度にしてご使用下さい。なお、専用シンナーには、硬化速度を遅くしてポットライフ（主剤と硬化剤を混合した後の可使時間）を長くするために、反応遅延剤が配合されています。なお、この反応遅延剤は、シンナー中の溶剤が揮散するとともに遅延効果がなくなり、硬化します。

３．硬化時間について
硬化は、温度によって大きく変動します。
常温（２５℃）付近では、指触乾燥：６時間、硬化乾燥：２０時間程度必要ですが、温度が１０℃上昇すると、硬化時間は約半分になりますので、お急ぎの場合には加温して下さい。逆に、この樹脂は、１０℃以下では反応が非常に遅くなり、５℃以下では殆ど反応しなくなりますのでご留意下さい。

Ⅲ注意事項

１．主剤と硬化剤を混合すると、反応が始まります。
硬化時間は、気温に左右され、１０℃以下では殆ど反応が進まず、硬化時間が非常に長くなりますので、冬場の場合には加温して下さい。

２．主剤と硬化剤を大量に混合すると,反応熱が内部にたまり、温度が上昇し、硬化が早くなります。これが進みすぎるとかなり高温になり反応が暴走する可能性があるので、主剤と硬化剤を一度に大量に混合することはお避け下さい。
又、ポットライフを長くしたい場合には、必ず専用シンナーで希釈してご使用下さい。（専用シンナーには、硬化遅延剤が含まれているので、ポットライフを長くできます。）

３．この樹脂は、主剤、硬化剤共に１００％樹脂であるため、注型にも適します。
この場合には、主剤と硬化剤を混合時に泡が出ないように混合する必要があるので、ご注意下さい。

４．反応速度は、温度が１０℃上昇すると、反応速度は約２倍早くなり、従って、硬化時間は約１／２になります。加熱は硬化時間を短縮するのに効果的です。

Ⅳ. 規格　　　ＪＩＳ　Ｃ２３５０(1983)　電気絶縁用仕上げワニス

規　　格	結　果	備　　考
外観　液状	合　格	混合時、均等に混ざり、不純物がないこと
比重　主　剤 硬化剤	１．１５ １．０３	1.15±0.05　（25℃） 1.03±0.05　（25℃）
不揮発分　主　剤 硬化剤	１００ ％ １００ ％	
塗膜の付き方　中央部 下部	合　格 合　格	0.05㎜以上 140%以下
乾燥時間　指触 硬化	６時間 ２０時間	12時間以内(25℃) 24時間以内(25℃）／1時間(60℃)
可使時間	３０分	（25℃）
体積抵抗率　常態	合　格	１×１０^{2}MΩ以上
絶縁破壊の強さ　常態	合　格	２ｋＶ以上（100μ㎜当り）

以上

その他のグレードとして、セラック樹脂系一液常温乾燥タイプの絶縁ワニス「ＷＳ４０」（不揮発分＝４０％）もありますので、ご照会下さい。